

盛岡市の決算

一般会計

福祉や教育の充実、住みよくなるための都市整備など、市の主なお金の出し入れをしています。29年度の決算は、歳入から歳出を差し引いた14億5990万円から、30年度へ繰り越した事業の財源4億2347万円を差し引いた実質収支で、10億3643万円の黒字になりました。

歳入 2%減

28年度に比べて、地方交付税や市債、国庫支出金などが減ったことにより、総額では22億2574万円の減になりました。

市税	426億6970万円 (38.5%)
国庫支出金	196億8183万円 (17.8%)
地方交付税	139億8768万円 (12.6%)
市債	104億7867万円 (9.5%)
県支出金	71億8133万円 (6.5%)
地方消費税交付金	56億4310万円 (5.1%)
繰入金	22億4892万円 (2.0%)
繰越金	13億8417万円 (1.2%)
その他	75億3551万円 (6.8%)
計	1108億1091万円 (100%)

歳出 2.1%減

28年度に比べて民生費や農林費、衛生費などが増え、総務費や教育費などが減ったことにより、総額では23億147万円の減になりました。

民生費	453億3225万円 (41.5%)
総務費	112億2000万円 (10.3%)
土木費	151億1499万円 (13.8%)
公債費	125億7988万円 (11.5%)
教育費	82億8122万円 (7.6%)
衛生費	80億3307万円 (7.3%)
消防費	38億3402万円 (3.5%)
農林費	28億8962万円 (2.6%)
その他	20億6596万円 (1.9%)
計	1093億5101万円 (100%)

() 内は構成比

() 内は構成比

29年度の主な事業はこちら！

子育て環境の充実や交流人口の増加、農商工観光連携の促進などを「戦略プロジェクト」※1事業とし、重点的に取り組みました。

子育て応援プロジェクト	
私立児童福祉施設等運営事業 (保育士などの処遇改善)	3億1659万円
認定こども園等運営費給付事業	20億8231万円
医療費給付事業 (妊産婦、乳幼児、小学生)	7億9879万円

きらり盛岡おでんせプロジェクト	
盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業	915万円
盛岡デー等観光PR事業 (東北復興イベント開催事業)	1500万円
祭り・イベント振興事業 (盛岡さんさ踊り40周年記念事業)	1602万円
MICE ※2 (マイス) 誘致推進事業	2350万円

「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト	
食と農の連携推進事業	2693万円
新規就農・経営継承総合支援事業	1958万円
工場新設拡充等事業	4735万円
新産業等用地整備事業	2717万円

※1 市として施策を横断して戦略的に取り組む事業
※2 企業などの会議や報奨、研修旅行、国際会議、展示会・見本市、イベントの英訳頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称

市債の状況

市債残高は1309億7529万円で、28年度に比べ9億9472万円減になりました。市民1人当たりの借金は45万930円(29年度末時点)と28年度に比べ1000円の減となりました。

市税の使いみち！

使いみちが決められていない市民税や固定資産税など普通税と、使いみちが決められている目的税(入湯税と都市計画税)があります。29年度の入湯税の収入は5558万円で、観光振興や消防設備などにあてられています。都市計画税の収入額は21億223万円で、街路や公園、下水道の整備、土地区画整理などにあてられています。



盛岡市タカヤアリーナ

29年度

上下水道局の決算



上下水道局の会計は公営企業会計です。この会計は、年度ごとの料金など主たる収益・維持管理費用の「収益的収支」と、施設整備の投資とその財源の「資本的収支」の2つに分けて管理しています。



上下水道事業は、皆さんが支払っている水道料金、下水道使用料を主な財源として運営しています。29年度の決算は、水道事業と下水道事業が共に純利益を計上しました。

施設の老朽化や使用水量の減少など、厳しい経営環境にありますが、今後も良質な上下水道サービスを提供するため、業務の見直しや適切な事業選択を行い、効率的な運営に努めます。

【問】上下水道局経営企画課 ☎623-1442

水道事業

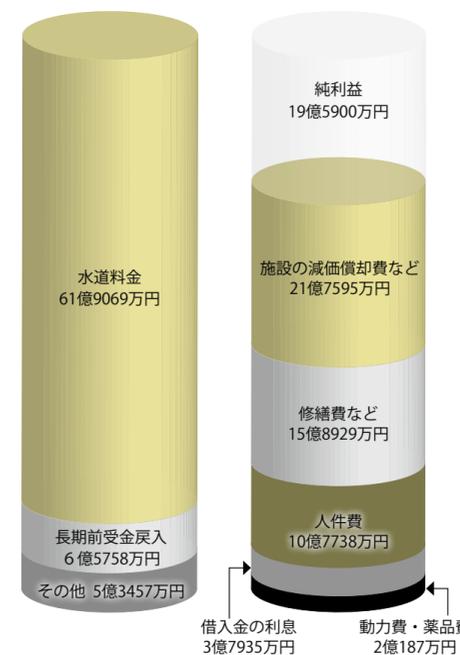
総収益は73億8284万円、総費用は54億2384万円で、収益的収支は19億5900万円の純利益となりました。

主な事業

- 安定した給水確保のため、老朽化の進んでいる浄配水場施設や配水管路を計画的に更新しました
- 災害に強い水道システムの構築のため、応急給水用資機材や災害支援システムを整備しました
- 水道水源の良好な水質を保つため、水源かん養林を適切に維持・管理しました
- 市の水道事業への理解と関心を深めてもらうため、上下水道局の広報紙「みずの輪」の発行や水道施設見学会などを実施しました
- 水道料金の改定や料金収納の強化に取り組むなど、健全な事業運営に努めました

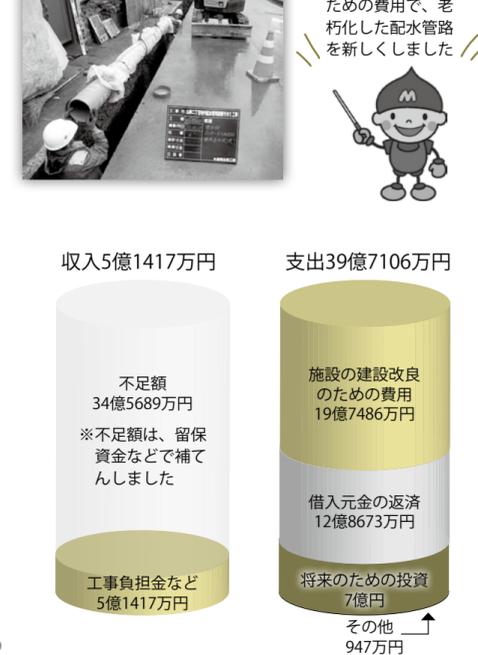
水道水をつくり送り届けるための収益と費用

収益的収支 (消費税抜き)



水道施設を整備するための財源と費用

資本的収支 (消費税込み)



施設の建設改良のための費用で、老朽化した配水管路を新しくしました



市民一人当たりで見ると ※いずれも年額

こうなります！

市税の負担	
個人市民税	5万6603円
固定資産税	5万8430円
都市計画税	7238円
その他	9105円
計	13万1376円

行政サービスの提供に掛かる費用	
民生費	15万6073円
総務費	3万8629円
土木費	5万2039円
公債費	4万3311円
教育費	2万8511円
衛生費	2万7657円
その他	3万260円
計	37万6480円

特別会計

国民健康保険費や介護保険費など、特定の財源で事業を運営しています。すべての事業で黒字となりました。

(▲はマイナス)

特別会計名	歳入決算額	前年度との比較増減	歳出決算額	前年度との比較増減
国民健康保険費	317億3464万円	2億8047万円	304億3596万円	▲6億2273万円
介護保険費	251億1855万円	8億3858万円	249億1257万円	8億6415万円
後期高齢者医療費	29億7211万円	1億223万円	29億6235万円	9898万円
中央卸売市場費	14億3940万円	▲1億4632万円	14億3831万円	▲1億4611万円
農業集落排水事業費	5億2602万円	109万円	5億2459万円	134万円
土地取得事業費	2081万円	566万円	2058万円	547万円
母子父子寡婦資金貸付	2億6007万円	5377万円	9015万円	6082万円
公設浄化槽事業費	897万円	37万円	835万円	17万円
東中野財産区など	719万円	354万円	719万円	354万円
計	620億8776万円	11億3939万円	604億5万円	2億6563万円

下水道事業

総収益は82億8060万円、総費用は76億452万円で、収益的収支は6億7608万円の純利益となりました。経営の効率化に努め、今後もさらなる改善を図っていきます。

主な事業

- 安定した汚水処理と浸水被害の防止を図るため、ポンプ場などの下水道施設を改修しました
- 下水道施設の耐震化・老朽化への対応のため、長寿命化対策と設備更新の工事をしました
- 水酸化普及のため、排水設備無料点検の実施や水酸化普及資金融資制度の利用啓発と融資を行いました
- 衛生的な生活ができるよう、生活排水を処理場まで送る「汚水管」や雨水の浸水を防ぐ「雨水管」を整備しました
- 局所的な集中豪雨などによる内水浸水被害を最小限にするため、内水ハザードマップを作成しました ※マップは市防災マップと上下水道局のホームページに掲載

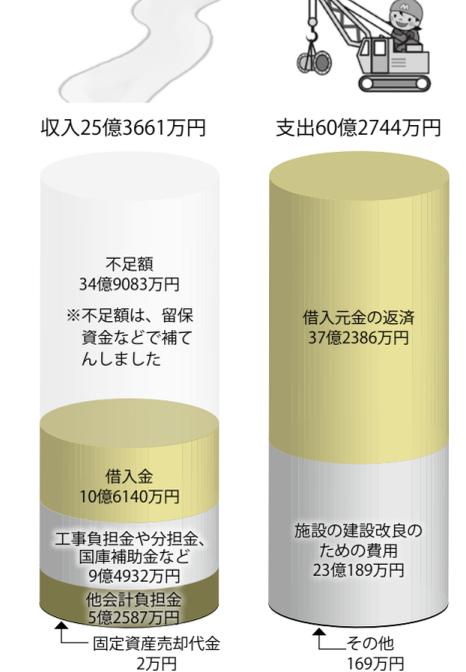
下水を処理するための収益と費用

収益的収支 (消費税抜き)



下水道施設を整備するための財源と費用

資本的収支 (消費税込み)



施設の建設改良のための費用

財政指標

(財政健全化判断比率)

全項目で基準をクリア！

地方公共団体の財政健全度を判断する4つの指標について、市はいずれも早期健全化基準を下回り、健全な水準です。いずれかの指標が基準を超えると「早期健全化団体」や「財政再生団体」になり、財政健全化のため税金の増額、住民サービスの見直しなどが必要になります。

表	早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率 (一般会計を中心とした赤字割合)	11.25%	20%
② 連結実質赤字比率 (全ての会計の赤字割合)	16.25%	30%
③ 実質公債費比率 (年間借入金返済額の割合)	9.5% (9.6%)	25%
④ 将来負担比率 (将来負担すべき負債の割合)	64.2% (68.6%)	350%

健全財政 ← 財政悪化

★ : 29年度の盛岡市の比率 ※ () 内は28年度の比率